

尾張北支部

社員も多数参加の忘年会

尾張北支部（金田英治支部長）は12月15日（金）午後6時30分より名古屋クレストンホテルコルヴィアスイート（名古屋市中区）で55名が出席して忘年会が開かれました。来賓として事務局から専務理事 渡邊 修氏が出席しました。



挨拶をする金田支部長

金田支部長は挨拶で「今回の忘年会は、親睦と交流を更に深めて欲しいと考え、少し工夫をいたしました。一つ目は受付時にお渡ししたネームプレートです。会社名及び氏名を大きな活字にしました。これは席が離れた場所からも皆さんの名前がしっかり見えるようにしました。二つ目は本日の出席者の方々に自己紹介をお願いしました。支部の交流の場はビジネスチャンスの場でもありますので、有効的に活用していただきたいと思い、同じ支部会員の方の顔を覚えていただく機会としました。」と述べました。

来賓の渡邊専務理事からは「今回はダイコー問題が一応決着し、廃棄物処理法の改正や水銀関係法の施行など、廃棄物の節目の年でした。皆様も大変忙しい一年だったと思います。」と述べました。

その後、竹内良一元支部長の乾杯の発声で忘年会は始まりました。会食で和んだ頃出席者にハンドマイクが渡り自己紹介が始まりました。それぞれ会社名、氏名、自社事業のPRを話されました。その後名刺交換が活発に行われましたが、事前の自己紹介はスムーズな交流を生むきっかけづくりとして役立ちました。

支部の交流を活性化するための運営委員の創意工夫が功を奏した忘年会でした。

